

質問27

合成洗剤がもたらす漁業への弊害について(小4女子)

答え

合成洗剤に含まれる窒素やリンなど、植物の栄養となる物質が増えすぎるとおこる「赤潮現象」の発生が、漁業の弊害にあげられます。(栄養が増えすぎること「富栄養化」といいます)

赤潮現象とは、窒素やリンなどを栄養とする植物プランクトンや、これらをエサとする動物プランクトンが大量に発生する現象です。

赤潮が発生すると、プランクトンが呼吸のため、湖や海の酸素を大量に使ってしまい、魚たちの酸素が不足したり、魚がエラにプランクトンを詰まらせたりして大量に死んでしまいます。このため、赤潮は漁業の大敵となっています。

過去には、滋賀県の琵琶湖や瀬戸内海を中心にひんぱんに赤潮が発生して大きな問題となっていました。近年は合成洗剤に使うリンの量を減らすなどの改良や、水を汚さないようにする住民の取組などの結果、減少しています。

富栄養化とは栄養が増えることなので、一見、良いことに思われますが、私たちも食べすぎるとお腹をこわしたり、太ってしまったりするように、湖や海も富栄養化になると、きれいな環境のバランスが壊れ、いろいろな問題が発生します。また、合成洗剤の成分は自然の力では分解されづらいため、私たちの生活排水が川や海につながっていることを忘れず、必要以上に水を汚さないように注意することが大切です。